

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター（放課後）

事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	COMPASS 発達支援センター
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 34名 (回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10名 (回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月26日

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間のコミュニケーションが良く取れており、情報共有がしっかりできております。	・情報共有を行う中で、職員全員で話し合いを行い、個々の発達年齢に応じた療育を心掛けております。	・各研修や講演会、勉強会等に代表者が参加し、事業所内で共有を行うことで、職員の資質向上を図っております。 ・利用児童の年齢が上がってきたことに伴い、思春期を迎える児童のご家庭に対し、専門の先生を招いて性教育に関する講習会を開催できるよう、取り組んでまいります。
2	・作業療法士、理学療法士等の専門職の意見をもとに話し合い、体の動作や巧緻性の向上を目的とした計画を立てております。また、教員や保育士等の経験を活かし、レクリエーションやソーシャルスキルトレーニングを実施しております。	・運動療育においては、さまざまなアプローチ方法を考案し、取り組んでおります。限られたスペースでも楽しめる運動やゲームを取り入れるとともに、体育館や多目的ホールを活用し、広い場所でも思いきり体を動かす遊びも実施しております。	・チームで意見を出し合い、運動時の安全に配慮しながら、新しい要素も柔軟に取り入れ、固定化した支援にならないよう工夫して取り組んでまいります。 ・身近な題材を用いたロールプレイやモデリングを実施し、ソーシャルスキルの強化を図ってまいります。
3	・児童同士のコミュニケーションの機会を多く設け、他校や異年齢の交流を大切にしております。 ・長期休みには、児童が楽しめるよう、さまざまなイベントを企画・実施しております。	・体験や経験を積むことを大切に、畑での野菜栽培や工場見学、職場体験などに取り組んでおります。 ・経験を重ねることで、児童自身の主体性を引き出し、自己選択・自己決定ができる学びを意識して取り組んでおります。	・さまざまな地域の機関や人との関わりの中で、自身の得意・不得意を知り、自分らしさを見つけてながら、将来に向けた自立を支援してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・各ご家庭単位での情報共有や連携はできておりますが、父母の会などの交流会は開催できておりません。	・保護者交流会の開催については、平日では参加できる保護者様が限られるため、土・日・祝日などの事業所閉所日に設定する必要があります。しかし、従業者の振替休日を考慮すると、平日の受け入れ体制に影響が出るため、引き続き検討が必要な課題と考えております。	・まずは、保護者様のご意向を確認した上で、実際に集合しなくても情報発信ができる方法を模索していく必要があると考えております。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができておりません。	地域住民の方を招待する事に関しましては、現在の事業所の体制上では難しいと考えております。	地域で行われているイベント等への参加がまず取り組める方法であるかと思っておりますのでそのような情報を集約していきながら地域の方と関われる機会を設定していけるよう検討してまいります。
3			